

実践し 省察する コミュニティ

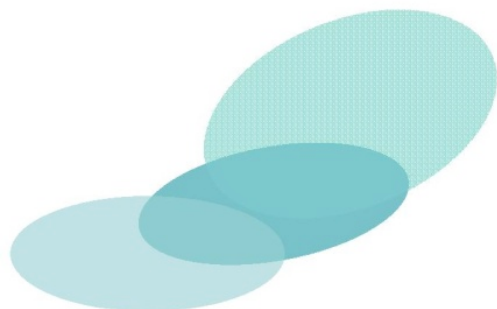
Round Tables:
Winter Sessions 2013
for Reflective Practice
and Organizational Learning
2013.11.30-12.1
in Meiji University

For Communities of Practice and Reflection since 2001

実践研究 東京ラウンドテーブル^s

Winter sessions 2013 II in Meiji

実践の長い道行きを語り
展開を支える営みを聴き取る



★

自らの実践を省察し
展望をひらくために

★★

実践を省察する
学び合う地域と職場をつくるために

★★★

新しい実践研究と
研究ネットワークをつくるために

2013.11.30-12.1

明治大学

実践研究東京ラウンドテーブル実行委員会 / 社会教育実践研究フォーラム
教師教育改革コラボレーション/全国社会教育職員養成研究連絡協議会 (社養協)

明治大学社会教育主事課程 / お茶の水女子大学社会教育主事講習 / 福井大学大学院教職開発専攻

参加について

右の URL の申し込みフォームからお申し込みください。 <http://ws.formzu.net/fgen/S17409544/>

11 / 30 (sat)

session I 13:30-

専門職として学び合うコミュニティを培う

ZoneA 13:30-16:30 学び続ける教師を支えるために

—「修士レベルの教員養成課程の改善に関するワーキンググループ」報告書と教職大学院改革—

明治大学リバティタワー 13階 1135

「修士レベルの教員養成課程の改善に関するワーキンググループ」報告書について 13:40-

村山紀昭（元北海道教育大学学長
文部科学省教員の資質能力向上に係る当面の改善方策の実施に向けた協力者会議
修士レベルの教員養成課程の改善に関するワーキンググループ座長）

教職大学院改革の構想と展開 14:20-16:30

宇都宮大学 松本敏
大阪教育大学 富田福代
福井大学 松木健一

ZoneB 13:30-16:10

コミュニティ学習支援コーディネーターの力量形成とその組織

明治大学リバティタワー 13階 1136

持続可能なコミュニティの形成に関わるコーディネーターが、地域での学びあいを支える実践を展開していくためには、そのための力量形成を継続的に支える組織とシステムが不可欠です。社会教育職員の研修の取り組みを通して、コミュニティ学習支援コーディネーターの力量形成とその組織のあり方について検討します。

<パネルディスカッション>

公民館学校における職員の世代間交流—入間地区公民館連絡協議会の取り組みから—
冨塚一資（水谷東公民館館長・入間地区公民館連絡協議会事務局長）

年間を通じた職員の研修と交流—川崎市社会教育職員の研修—
越智修（川崎市教育委員会 生涯学習推進課 生涯学習研修推進嘱託員）

教育委員会と大学の協働による持続的な実践の省察—福井市 公民館主事の研修—
熊野直彦（福井市教育委員会 生涯学習室）

コーディネーター：平川景子（明治大学）・杉山晋平（福井大学）

16:15-18:00 Active Learning 実践交流

明治大学リバティタワー 13・14階 1138・1147・1148

社会教育課程をはじめとする大学における学習支援者の養成課程において、実習やインターンシップなど、実践力の養成を目指す取り組みが進められています。大学生・大学院生が語る地域や学習・教育施設などでの活動プロセスを聴き合い、実践の交流をはかります。

12/1 (sun)

9:20-14:20

明治大学アカデミーコモン 11階 311 A, C, D, E, F, G, H, J

Session II

実践の長い道行きを語り 展開を支える営みを聴き取る

実践研究東京ラウンドテーブル。2013

地域や職場で自分たちの実践をじっくり跡づけ、その省察をふまえて実践を編み直していく。地域・職場を大人同士が実践を通して学び合う協働体（コミュニティ）に変えていく。その中で一人一人が、省察的で主体的な実践者としての力を培っていく。そうした地道な取り組みが、少しずつ蓄積されてきています。

試行錯誤しながら大切に進められてきているそうした取り組みを、より広く伝え合い、じっくり展開を聞きとり、学び合う場を作りたいと思います。

はじめに：会の進め方について

9:20-9:30

展開を語る/プロセスを聞き取る

(小グループで実践の展開を聴き合います)

実践記録を土台に実践の歩みをじっくり語っていきたいと思います。心に残っている場面。言葉、表情、行為。その時々を感じていたこと。ふりかえる中で見えてきたつながり。話し合いと記録づくりの中ではじめて気づいたこと。いま改めて跡づけ直して考えていること。

語られる展開に耳を傾け、活動の場面を共有し成長のプロセスを探っていきたいと思います。実践の過程をじっくり語り・聞きあう場、実践を共有して協働探究できる関係がより広く培われていくことが、その後の実践への問いの深まりを支える拠り所になると思います。

自己紹介 9:30-9:50

報告① 9:50-11:00

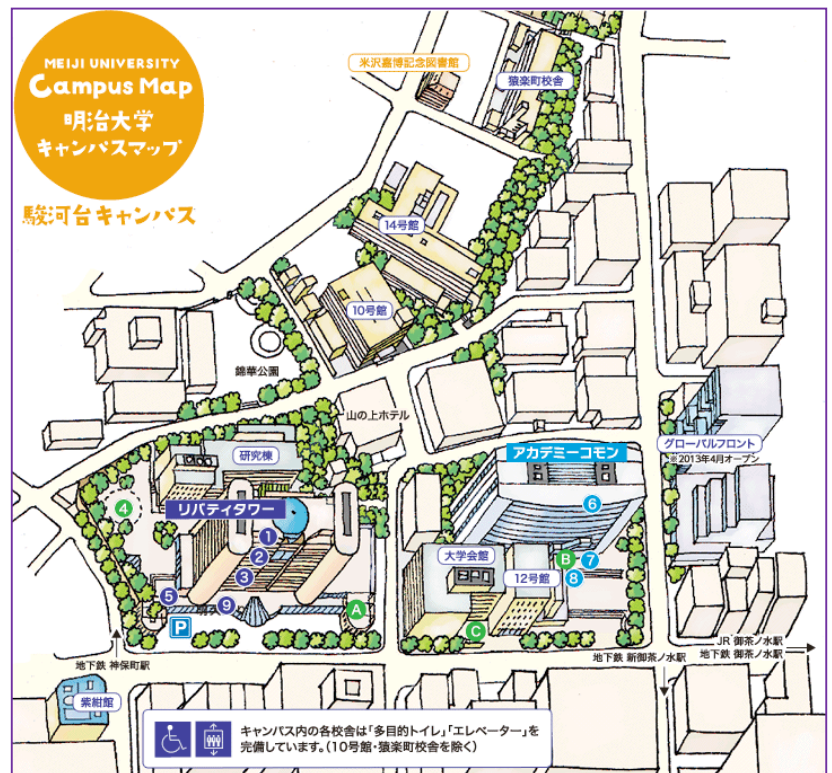
ポスターセッション 11:00-11:50

明治大学社会教育主事課程、東京学芸大学新宿 Youth Project、お茶の水女子大学児童館ボランティアほか

昼食 11:50-12:50

報告② 12:50-14:00

展望 14:00-14:20 (グループごとに解散します。)



連絡先：

平川 景子 (事務局長・明治大学)

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学研究棟 524 tel&fax 03-3296-2024

松木 健一(福井大学教職大学院) 〒910-8507 福井市文京 3-9-1 dpdtfukui@yahoo.co.jp